

信州大学医学部附属病院 消化器外科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2023年2月10日

「急性胆嚢炎における SAND balloon の有用性についての研究」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5745
研究課題名	急性胆嚢炎における SAND balloon の有用性についての研究
所属(診療科等)	信州大学医学部外科学教室
研究責任者(職名)	安川紘矢(特任助教)
研究実施期間	医学部長による許可日～2027年12月26日
研究の意義、目的	急性胆嚢炎における腹腔鏡下胆嚢摘出術は世界的に一般的な治療法です。しかし、術中の手術方法は各施設で異なり、術者によっても術後成績は異なってきます。当院では、術中に SAND balloon と呼ばれる機会を用いて、術中に胆嚢内部の感染している胆汁をあらかじめ吸引してから手術することで術中の胆汁の腹腔内汚染を防ぐ方法をとってきました。この方法が世界的に認められることで、さらに腹腔鏡下胆嚢摘出術の安全性が高められると思われれます。
対象となる方	2007年04月1日～2022年12月1日の期間に、信州大学医学部附属病院消化器外科において急性胆嚢炎と診断され腹腔鏡下胆嚢摘出術を受けられた方。
利用する診療記録	<患者背景データ> 年齢, 性別, 全血液検査データ, 血液ガス分析, 既往, 細菌培養検査, 生活歴, 趣味・嗜好歴 <手術データ> 手術時間, 出血量, 輸血の有無, 術式の差異, 合併症の有無 <病理データ> 炎症の程度, 壊疽性かどうか, 組織学的因子, 組織断端の病理学的データなど。 <予後データ> 入院期間, 再発・死亡(他疾患含む)までの期間
研究方法	急性胆嚢炎に対して行われた治療法、そしてそれにかかわる様々な因子の関わりを解析し、予後にかかわる因子を検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。

問い合わせ先	氏名(所属・職名): 安川 紘矢(信州大学医学部外科学教室・特任助教) 電話: 0263-37-2654
--------	---

既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。